

今日の道徳科の時間

6年

自由を実現させる心

教材「スイッチ」

この教材は

もうすぐ中学生になる佐希。家でだらだら過ごしていると、必ずお説教をしてくる母に対し、「家にいるときくらい、自由にさせてほしい。」という思いを抱いていました。そんな時、学校の芸術鑑賞会でさまざまなチームのダンスパフォーマンスを見ることに。いろいろな年齢や性別の人、障がいのある人が、いっしょになって力いっぱい踊る姿に心を打たれた佐希は……。

自我が芽生え、大人の支援を煩わしく感じてしまうこともある6年生の子供たち。「自由」とは、「好き勝手にしていいこと」と捉えてしまう児童も少なくありません。この教材を通して、自由の意味を捉え違えることなく、自律的で責任のある行動を取ろうとする児童を育てていきます。

育てたい子どもの心



「自由であること」と「好き勝手にできること」は違う。

自由を主張するためには、自分の行動に責任をもたなくてはいけない。



今までずっと、自由の意味を間違えていた。これからは、自分の生活や生き方に責任をもちたい。

子どもの心を育てるために

- 「自由」についての率直な意見を聞き、主人公と自分たちの共通点を考えさせます。
- ワークシートに考えを書くことによって、自分の生き方について見つめ直します。
- それぞれの「自由」についての考えを他者との交流によって広げたり深めさせたりします。

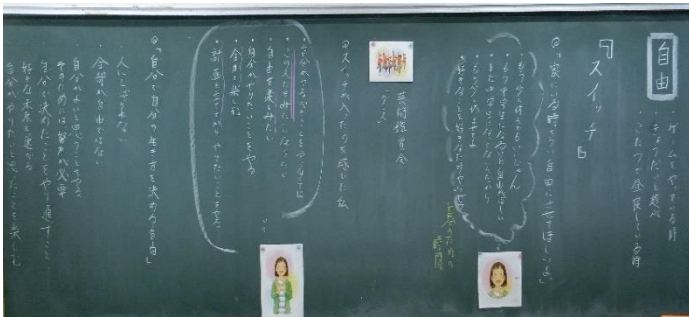
学習の流れ

- ① それぞれの児童の「自由」の捉え方について確認する。
- ② 「スイッチ」を読んで、主人公の気持ちについて考える。
- ③ 「自由」について考えたことをお互いに伝え合う。
- ④ 自分の体験や経験を振り返り、目標に向かう取り組み方について考える。

道徳地区公開講座週間 6年生

自由を実現させる心
教材 「 スイッチ 」

自由を実現させるためには、
どのような心が大切なのか
考えました。



自分が正しいと思ったことをやっていく。最後までやり通す責任がある。

自分の目指したいことに真剣に向かい、たくさんの努力をすることが大切。



自由の中にも責任がある。責任をもって自由に過ごしていきたい。

自分の選んだ道に責任をもって、これからも前へ進んでいきたい。